



学校だより

北門

【校訓】

誇りと責任

旭川市立北門中学校

NO. 8

平成30年11月30日

「北門中生はすごい」

校長 村田 昌俊

11月のある日の放課後、2年生の教室をのぞいてみると生徒達20名程が放課後学習を行っていました。「いつから放課後学習を始めたの？」とA先生に尋ねると。「10月の初めくらいからです。最初は数名の生徒が、『先生、放課後、部活動に行く前に少し勉強教えて』ということから始めたんです」という答えが返って来ました。このことを知り、私は「2年生の生徒たちはすごいなあ」、生徒の求めに応じて時間をやり繰りしながら応じている先生方に心から「ありがとう」という気持ちになりました。

先月までの学校だよりの中で、私は生徒の学力向上についてふれて来ました。が、今回の生徒達が自発的に取り組み始めた放課後学習会、それに呼応して応援する先生達の試みから多くのことを学びました。それは生徒の学力の向上という視点でのみ学習を捉えていた私の想像力（イマジネーション）不足を反省する機会となりました。学力向上よりも大切なのは、「学習意欲の向上」＝（自ら学ぼうとする気持ち）であることを改めて2年生の生徒と先生達の試みから考えさせられました。

子どもたちは自らの生活や生き方をそれぞれの主体者として目覚め、自らの人生に夢をもち、その夢を達成しようと歩み始める。そのスイッチを入れるのは自分自身であるということに気がついた時、自ら学ぼうとする気持ちが動き始めるのです。

「子どもは本来学ぶことは楽しいことだと知っている」という前提に立って、生徒の学びを支える環境づくりを設計していかなければなりません。「人は何のために学ぶのか？」生徒達の生活に照らして共に考えていきたいと思っています。併せてこれから20年先の未来の生活を想定しながら、「何ができるようになればよいのか」「何を身に付けておかなければならないのか」ということを明確にした上で、大人たちは学びをデザインしていかなければなりません。

そこで、学習意欲を高めるための試みの一つとして、来週早々に保護者・地域の皆様へお願いする文書を配布させていただきます。配布いたします文書をご一読の上、ご助言とご協力いただけましたら幸いと存じます。

長くなりますが、お願いが1つあります。それは、お子様のスマホやタブレットの取り扱いについてです。実は初秋から、LINEやSNSを媒介としたトラブルが引き続き起こりました。10月から11月にかけて多くの時間をこのトラブル解消に費やして来ました。プライバシー・人権保護の観点からも関係機関とのやりとりなど問題解決のプロセスには慎重さが求められました。ICTや通信機器は子どもたちが大人になって行く上では必要不可欠なツールです。現在では「使用しない」とか「使用させない」というレベルのことでは課題解決になりません。どうか各ご家庭において、今一度、スマホやタブレットの使用に関して、お子様と十分話し合っ各家庭でオリジナルのルールを創っていただき、子ども自身が自ら問題意識をもって行けるようなご指導・ご助言をお願いいたします。学校においても授業の中で学ぶ機会を設けていますが、各ご家庭においてお父さんやお母さんからのご指導が最良最高のものだと思いますので、よろしく願いいたします。

職業講話(第1学年)

11月2日(金)2～4校時に、体育館にて「職業講話」を実施しました。職業講話は、本校のキャリア教育の一環として、毎年、1年生を対象として行っています。

身近でご活躍されている職業人の方を講師としてお招きし、働くことの意義や仕事の特性について、または、中学生として今、取り組むべきことなどについてお話をいただいております。

生徒たちにとっては、普段の学校生活では接点の少ない「職業」「働くこと」という世界に触れ、感じることで、自分の将来や勤労観・職業観について関心を高めるよい機会となりました。

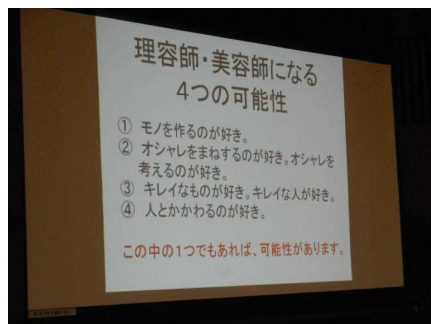
【講師の方々】

・旭川市立近文保育所	和久 貴仁 様	
・ジブラルタ生命保険株式会社	小島 正道 様	村井 ゆかり 様
・防衛省自衛隊旭川地方協力本部	高崎 敏平 様	澤田 敏之 様
・旭川理容美容専門学校	鈴木 学 様	

お忙しい中、貴重な講演をしていただき、ありがとうございました。

【生徒の感想から…】

- ☆今回の職業講話を通して、自分の将来に向けて、目標を見つけ、様々なことにチャレンジしていきたいと思います。
- ☆ジブラルタ生命保険のお仕事は、生命の大切さや愛する人に思いを伝えられたりなど、やりがいのあることがわかりました。
- ☆美容師のお仕事は、頑張って得た技術だからこそ、感謝され、感動を与えられる仕事だとわかりました。
- ☆美容師のお仕事は、笑顔がとても大切であることがわかりました。なので、これからは、笑顔を大切に過ごしていきたいと思います。
- ☆自衛隊のお仕事は、日頃の体力作りやトレーニングをして、僕たちを災害の時に助けてくれて、すごくカッコいいお仕事だと思いました。
- ☆保育士のお仕事は、子どもの成長に必要な環境を整えるだけでなく、一人一人の思いに、どう寄り添っていくかなど、僕たちが考えていた以上に様々な仕事があることがわかりました。
- ☆保育士の仕事は、大変でも、子どもたちと生活し、子どもの成長を近くで見守りながら共に成長できるということを聞いて、とてもすてきな職業なんだなあと思いました。



北門中生の活躍をご紹介します！

文化系の部

【個人】

○平成30年度 第63回旭川市児童生徒読書感想文コンクール

優秀賞 小佐川 凛(3-4)
優秀賞 菅野 来瞳(2-1)

○中学生の「税についての作文」

・北海道納税貯蓄組合連合会 会長賞 好川 怜那(3-4)
・旭川中地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 栗山 葉路(3-1)

○平成30年度 旭川中間税会「税の標語」

会長賞 妻鳥 梨愛(3-3)

【吹奏楽部】

○「全日本中学生・高校生ソロコンテスト予選第9回北海道大会中学生部門」

金賞 伊東 希実(2-3)

※第23回全日本中学生・高校生ソロコンテスト中学生部門へ北海道代表として推薦

【文化部】

○2018 第14回 中学生創造ものづくり教育フェア

「エンジョイ・ソーイング」部門 優勝 袋 友香(3-1)
第二位 堀 琴音(3-4)
第三位 佐藤 小瑚(1-1)

運動系の部

【個人】

○平成30年度 旭川市体力運動能力優良生徒審査会

総合評価1位 影近 亮(2-1)

【女子バスケット部】

○平成30年度 旭川地区中学校バスケットボール1年生大会

女子A～Cリーグ 第3位
優秀選手賞 山田 菜央(1-1)

【バドミントン部】

○第25回 旭川地区中学生新人バドミントン大会

男子団体 第3位

○第17回 全道新人バドミントン大会旭川予選

男子ダブルス 第3位 齋藤 遥人(2-3)
渥美 世納(2-2)
女子ダブルス 第5位 福西 早葉(2-3)
齋藤 叶未(1-4)

【サッカー部】

○平成30年度 第9回旭川・道北地区カブスリーグU15 Division 1

優秀選手賞 湊柳 翔愛(3-1)
優秀選手賞 影近 亮(2-1)

【女子バレー部】

○ALL KAMIKAWAバレーボール大会

第6ブロック 第1位
優秀選手賞 齋藤 愛華(2-3)

○道新たかはしオータムカップ

第3位

平成30年度 全国学力・学習状況調査から…

11月16日付けで、各教科（国語AB・数学AB・理科）に関する結果概要と改善策についてお知らせしました。今回は、「生徒質問紙の分析」についてご紹介させていただきます。

【生徒質問紙】

- 「学校の規則を守る」「いじめはいけないことだ」「人の役に立ちたい」の規範意識を問う項目では、全国平均と同等あるいはそれを上回る結果となり、道徳的な判断力や実践力が育まれてきていると考える。

☆「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

*「当てはまる」と答えた割合

本 全 全	校 国 道	87.9%	80.7%	80.8%
-------------	-------------	-------	-------	-------

- ▲「地域行事に参加する」「地域社会でボランティア活動に参加している」の項目では、全道・全国平均を下回る結果となった。開かれた学校づくりを推進していくためにも、家庭や地域社会に対して、積極的に働きかけていくことが大切である。家庭や地域社会とともに子どもたちを育てていくという視点に立った学校経営をより一層心がけていきたい。

- 「将来の夢や目標を持っている」という項目では、全国平均を大きく上回る結果となった。今後も、キャリア教育を中心に据えながら、自己管理能力を高めていけるような手立てを継続していきたい。

- ▲平日、家庭学習に取り組む時間が圧倒的に少ない生徒の割合が、全国・全道平均と比較して多いという結果となった。教育相談や各家庭との連携を通して、家庭学習の手引きを利用しながら、適切な学習時間を確保させるよう、根気強い指導が必要である。

☆「平日、学校の授業以外で、どれくらいの時間勉強しますか？」

*1時間以内と答えた割合

本 全 全	校 国 道	41.4%	29.4%	35.2%
-------------	-------------	-------	-------	-------

*全くしない

本 全 全	校 国 道	9.3%	4.9%	6.7%
-------------	-------------	------	------	------

- ▲平日・週末ともに、全国・全道平均と比較して、テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりして過ごしている生徒の割合が多いという結果となった。家庭学習に取り組む時間にも大きく影響を与えるので、帰宅してからの時間の使い方について、改善や定期的なチェックが必要であると考えます。

〈今後の対策〉

- ①学習時間が少ない生徒に対し、放課後学習会を開催したり、宿題を出したり、家庭学習ノートの指導などの個別指導により、内容の向上や時間の増加を図っていきたいと考えています。
- ②学力が伸び悩んでいる生徒に対しては、「家庭学習の手引き」を活用しながら、学習の仕方について指導するなど、学習相談の充実を図り、個別にアドバイスする機会を増やしていきたいと思います。
- ③メディアへの接続が1日2時間以上になると、家庭学習や睡眠時間の減少、家庭での役割を果たすなどの正常な生活に支障が出てくることが考えられます。ノーメディアデーの設定など、保護者と連携を図りながら、生活習慣の改善に取り組んでいきたいと考えています。